

## 連携型中高一貫教育校の現状と課題

学校	内容
芦原中 金津中	【芦原・金津】国語・数学の発展学習（古典文法、数学Ⅰ） ○10月から週1時間 1月下旬から週2時間（中高の教員TT）
連携クラス 単独学級 あり	【芦原・金津】英語の発展学習（長文読解） ○4月から週1時間 1月下旬から週2回（中高の教員TT）  (その他行事) ○サマーハイスクール（夏季休業中） 国数英等 2日 ○ウインターハイスクール（冬季休業中） 国数英または防災教育 1日 ○如月ハイスクール 国数英または防災教育 1～2日 ○土曜講座 国数英 2～3日 ○スーパーティーチャー（立命館守山中・高教員）による授業 2日
金津高校 連携クラス 2組あり	※連携クラス生徒は全員、金津高校に入学  ・連携クラスと一般クラスがあるがカリキュラムは同じ ・2年から連携クラスと一般クラスが、それぞれ文系・理系に分かれる

学校	内容
朝日中 宮崎中 越前中 織田中	【朝日】英語・数学 ○1・2学期 週1回（TT） 通常授業（連携生徒取出し） ○3学期 週4回（高校教員が授業） 中学の復習と発展学習 （発展学習：数学Ⅰ、英語表現Ⅰ、コミュニケーションⅠ）
連携クラス 単独学級 なし	【宮崎・越前・織田】英語・数学 町雇用の非常勤講師（高校免許）が授業 ○1・2学期 週4回（TT） 通常授業（全生徒） ○3学期 週4回（講師が授業） 中学の復習と発展学習 （発展学習：数学Ⅰ、英語表現Ⅰ、コミュニケーションⅠ）  (その他行事) ○大学訪問（福井大学） ○「土曜スクール」で金大附属高校スーパーティーチャー講座 ○サマースクールやウィンタースクールで地域探究や英検対策講座を実施
丹生高校 連携クラス 1組あり	※連携クラス生徒は全員、丹生高校に入学  ・数学・英語に関して連携クラスの進度が若干早い ・1年次で数学Ⅱ、コミュニケーション英語Ⅱを設定 ・2年次でコミュニケーション英語Ⅲを設定

学校	内容
美浜中 三方中 上中中  連携クラス 単独学級 なし	<p>【美浜・三方】英語・数学</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○1 学期 週 1 回 中学の復習・発展</li> <li>○2 学期～ 課外授業 中学の復習・発展（英語は検定試験）</li> <li>○3 学期～ 課外学習（R 2 年度より 2 月の発展学習を追加実施）</li> </ul> <p>【上中】英語・数学</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○夏季休業中の集中講座 2 時間～3 時間 中学の復習・発展</li> <li>○2 学期～ 3 学期 美浜・美方中学と同じ内容で実施</li> </ul> <p>その他行事</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○入学前特別学習（R 2 年度は 2 月～ 3 月に 3 日間実施）</li> <li>○サマースクールで大学教授による理科実験学習</li> <li>○本校探究学習発表会に参加</li> </ul>
美方高校  連携クラス なし	<p>※連携クラス生徒は連携クラスを退出し（1 1 月下旬）、他の高校を受験することも認めている。（R 2 年度は 16/42 他校受験）</p> <p>・連携クラスはなし</p>

## 成果

- ①連携クラスは少人数のため手厚い指導が可能である。
- ②中学 3 年次から高校卒業後の進路について意識を持つことができる。

## 課題

- ①中学校で「選択教科」の授業がなくなり、数学や英語等の教科において、発展的な授業を行う時間数の確保が難しくなった。
- ②児童生徒の減少により、中学校の連携クラスの生徒の確保が難しくなっている。

（金津）

- ①生徒の確保、魅力ある中高一貫したカリキュラムづくりが課題となっている。

（丹生）

- ①高校で少人数の単独クラスを編成しているため、高校入学後 3 年間クラス替えがない。中学・高校を通して学習意欲を高める工夫が必要となっている。

（美方）

- ①生徒の確保や中高一貫教育の特色化が課題となっている。